

## PRESTO® A40

6リットルのリアクターを  
0 °C から +20 °C に加熱します。

### Objective

このケーススタディでは PRESTO®A40を使用して6リットルのガラスリアクターを加熱能力をテストします。PRESTO®A40は2本の2mメタルチューブに接続されており、0°Cから+20°Cに加熱する様にプログラムされております。

### Environment

室温	+20 °C
湿度	45%
電源	230 V / 50 Hz

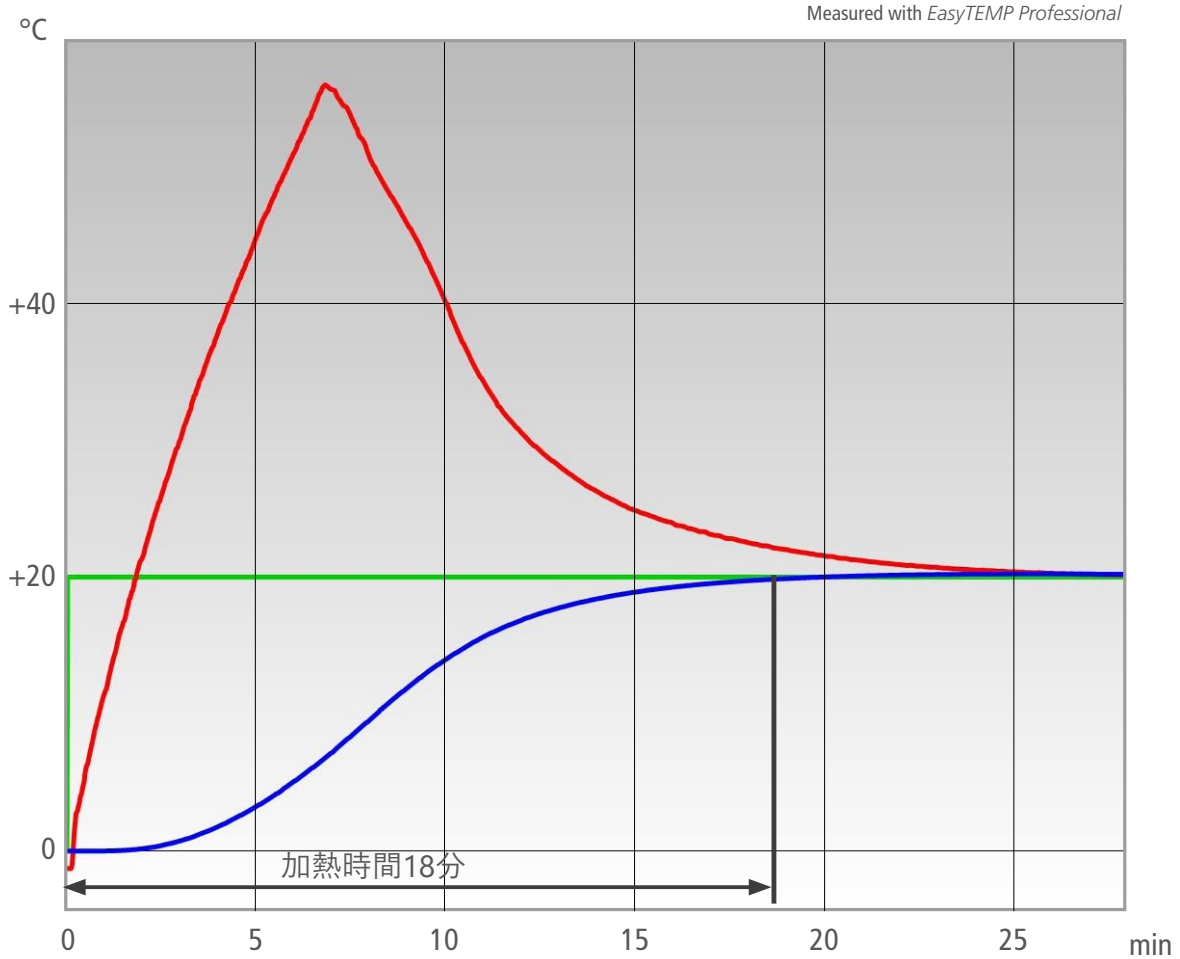
### Test Conditions

JULABO ユニット	PRESTO® A40
冷却能力	+20 °C 1.2 kW 0 °C 0.9 kW -20 °C 0.6 kW
加熱能力	2.7 kW
バンドリミット	行わない
吐出圧	0.5 bar
循環液	サーマル HL60
リアクター	6 リットルガラスリアクター (QVF) 循環液 5 l サーマル HL60
ガラスジャケット	4.5 l
コントロール	外部制御 (ICC)



## Test Results

The PRESTO® A40 はオーバーシュート無しで 0 °C から +20°C の加熱時間は18分でした。

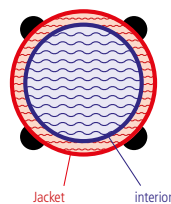


- 設定温度
- リアクター内部温度
- リアクタージャケット温度

### Tip

リアクター保護の為に“バンドリミット”機能を使用してください。リアクター内部温度とジャケット温度の温度差の指定が出来ます。

Profile of reactor



### Tip

豊富なアダプターを用意しております。M+R 温度センサーは配管途中の温度を表示、記録することが出来ます。

